

2010 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	教授
氏名	塩見 英治		
NAME	EIJI SHIOMI		

1. 研究課題

(和文) 国際航空市場における独占禁止法適用除外問題と競争政策についての研究

(英文) Research on Anti-Trust Immunity and Competition Policy in International Airline Markets

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

航空の規制緩和と自由化の進展を背景として、問題の焦点となっているアライアンスに対する独占禁止法適用除外 (ATI) と合併に対する競争政策の経過と特徴、問題点と課題について検討を行うことを目的としている。

(研究計画・内容)

国際航空の自由化の進展下でアライアンスは、グローバル・アライアンスとして進化している。この進化に影響を与えているのが、米国のオープンスカイとそれとセットになって適用される ATI である。また、規制緩和の進展下で、米国ではチャプター11の適用と企業合併が行われ航空の国際競争力に影響を与えている。これらの競争政策を整理したうえで、これらが航空市場の競争面に与える影響と競争政策上の課題について検証する。

(成果)

① アライアンスの競争への影響は、ネットワークの形状と連携によって異なり、支配的ハブで相互にオーバーラップしている路線では潜在的に反競争的な影響の可能性のある事実を検証している。②従来、明らかにされてこなかったチャプター11、合併などの競争政策について、経過の特徴、それらの複合的な影響評価、今後の課題について検討を行っている。

(英文)

This research explores the relationship between competition policies and anti-trust immunity under process of airline deregulation and liberalization. This points out evaluation of cost and benefit for alliance with ATI and completion policies depend on allied or merged networks. Prudent and detail inspection on these competition policies should be required.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）

- ① 塩見英治（2011）「国際航空市場におけるアライアンスの展開と評価」『商経論纂』57巻3号、近畿大学、2011年3月、127-141ページ（既出論文）
- ② 塩見英治（2012）「米国における最近の航空事情と競争政策」『経済研究所年報』第43号、中央大学経済研究所、2012年9月（予定）
- ③ 塩見英治（2012）「国際航空における競争と協調」『海運経済研究』第45号、日本海運経済学会、2012年10月（予定）

【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）

塩見英治「国際航空における競争と協調」日本海運経済学会、神戸大学、2012年10月（予定）

【図書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）

【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）

（報告）塩見英治「米国の航空事情と競争政策—Chapter11と合併政策を中心として」（一般財団法人）航空保安協会、2012年4月26日